

MGI031-06

会場:201A

時間:5月25日 14:30-14:45

月・惑星探査データ閲覧・共有・解析システム WISE-CAPS の実装と運用 System Implementation and Operation of WISE-CAPS, data browsing, sharing and analysis platform for lunar and planetary e

寺園 淳也^{1*}, 中村 良介², 児玉 信介², 山本 直孝², 出村 裕英¹, 平田 成¹, 小川 佳子¹

Junya Terazono^{1*}, Ryosuke Nakamura², Shinsuke Kodama², Naotaka Yamamoto², Hirohide Demura¹, Naru Hirata¹, Yoshiko Ogawa¹

¹ 会津大学, ² 産業技術総合研究所

¹The University of Aizu, ²AIST

月・惑星探査分野では、近年、より多くのデータが生み出されてきている。また、探査規模も大きくなると共に探査への参加者も増え、グループ内でのデータ共有、効率的な解析などに役立つシステム作りが求められている。

このような観点から、我々は月・惑星探査データを効率よく扱うことができるシステム「WISE-CAPS」(Web-Based Interactive Secure Environment for Collaborative Analysis of Planetary Science)を構築した。本システムは、言葉にもあるように、すべての処理をウェブベース(ブラウザ内)で行うため、新たなツールをインストールするといった必要はない。また、システムのベースはWeb-GISで、画像・地図表示はWeb-GISツールを用いて行っている。

現在、WISE-CAPSでは、月探査データを主としたデータ閲覧システムの整備が進んでいる。ベースレイヤーはクレメンタイン探査機が取得したデータを用い、試験的に「かぐや」データの一部を設置している。

また、WISE-CAPSシステムの特徴として、ユーザアクセスコントロール機能が挙げられる。IDとパスワードをベースとしているが、プロキシサーバを利用したデジタル証明書発行機能を用い、アクセスできるリソースを個人単位で制限することが可能である。また、グループ単位での共有も可能である。この機能により、研究者同士で柔軟なデータコントロールができ、論文の共同執筆や個人での研究にも役立つプラットフォームとなっている。

本発表では、システムの概要、最新の実装状況について述べる。

キーワード: GIS, 月探査, 惑星探査, ウェブ, データ共有

Keywords: GIS, lunar exploration, planetary exploration, web, data sharing